

科学技術政策担当大臣と有識者議員との会合 議事概要

日 時 平成 22 年 2 月 25 日 (木) 10:00 ~ 10:45

場 所 合同庁舎 4 号館 7 4 2 会議室

出席者 津村政務官、相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員、今榮議員、青木議員、中鉢議員、金澤議員、藤田統括官、梶田審議官、岩瀬審議官、大石審議官

議事概要

議題 1 . アクション・プラン策定に向けた意見交換会の開催について

< 須藤参事官説明 >

- (本庶議員) 各府省にヒアリングの趣旨をよく周知する必要がある。
- (奥村議員) アクション・プランは、閣議決定して、超年度の予算を確保するようなことも考えてよいのではないか。
- (中鉢議員) グリーン・イノベーションとライフ・イノベーションについては、これまでも極めて重要なテーマとして進められてきているもの。アクション・プランを作成することで、これまでと違って何ができるのかを明確にする必要がある。
- (津村政務官) 各府省には、一番最初に他省庁のことを説明してもらった上で、自分の役所のこと話してもらおうようにするなど、進め方を工夫しなければうまくいかない可能性がある。
- (相澤議員) 本日の議論も踏まえて 3 月 2 日に意見交換会を開催することとする。

議題 2 . 科学技術政策担当大臣と有識者議員との会合の地域開催について

< 加藤参事官説明 >

- (奥村議員) 関係者からの説明について、陳情スタイルではなく、現地の問題を認識した上で、のポジティブな提案型の意見を出していただくようにすれば、有意義になるのではないか。
- (白石議員) 例えば「第 4 期科学技術基本計画」など、テーマを絞って議論した方がよい。何でもよいということにすると、陳情になってしまうおそれがある。
- (本庶議員) 自治体から、地域にとっての科学技術政策について話をしてもらえれば、我々が思っていないような視点が出てくる可能性がある。例えば、中小企業から見て、国の政策は全く役に立っていないといったような生々しいものでよい。
併せて、第 4 期基本計画に向けた議論など、我々のアクティビティを示すことも重要である。
- (津村政務官) 説明者は重要であり、自治体、若手研究者からも意見を聞けるような形がいいのではないか。また、プレスだけではなく、会場の都合はあるだろうが、一般の方にもオープンにすべき。
- (青木議員) 現役の学生からも意見を聞ける形にしていきたい。
- (相澤議員) 第 4 期基本計画の策定に反映させるべき重要項目に絞って、個人としての意見を聴くような趣旨にしてはどうか。

(以 上)